

西脇市学校部活動地域展開に係る講演会及び説明会の記録

- 1 開催日時 令和7年4月20日（日）14:30～16:15
- 2 開催場所 西脇市茜が丘複合施設みらいえ多目的ホール
- 3 参加者数 100人
- 4 講演・説明会の目的
 - (1) 中学校部活動の現状と今後の地域展開に向けた改革について、現状の問題点と方向性を示す。
 - (2) 少子化・学校の小規模化、教員の負担増等の課題を踏まえ、部活動を学校だけでなく地域の力を借りた新たな形に再構築する必要性を議論。
- 5 内容
 - (1) 教育長あいさつ
部活動の現状（少子化による学校の小規模化、教員の負担問題等）と改革の必要性を説明。
 - (2) 森田先生の講演
 - ア 中学校部活動の現状と歴史的背景
 - ・学校教育の一環としての部活動の歴史とその課題について言及。
 - ・近年の少子化や教員の過重労働が従来の部活動形態の維持を困難にしている状況を指摘。
 - イ 地域展開への転換に向けた方向性
 - ・地域クラブ活動への移行や、学校外での活動を促進する必要性を強調。
 - ・地域指導者やボランティアの活用、受益者負担の仕組み、保険等の安全管理の重要性について述べる。
 - ・指導者確保の重要な課題や、部活動の充実と同時に先生や保護者、地域が支え合う体制の確立が求められると説く。
 - ウ 今後のビジョン
 - ・部活動改革によって、子どもの将来を左右する体験格差を解消するとともに、新たな文化・スポーツ活動の実現が必要。
 - ・伝統としての部活動の良さは受け継ぎつつ、現代の教育環境に適応した形への転換を求める。
 - (3) 市教育委員会事務局からの取組みに関する説明
 - ア 西脇市における部活動改革の現状と背景

- ・生徒数減少、学級・教員の小規模化への対応としての現状維持の努力。
 - ・働き方改革と連動し、教員が本来の教育活動に専念できるよう、部活動の負担軽減を狙いとした改革を説明。
- イ 今後のスケジュール
- ・令和7年度：実証事業の開始、特定の部活動（陸上競技、剣道）でモデルケースを展開。
 - ・令和8年度：7年度の実証事業結果を踏まえ、事業範囲・対象の拡大を計画。
 - ・令和9年度：休日の部活動が完全に地域移行することを目標とし、部活動を学校管理外の地域クラブ活動とする方針。
 - ・平日の部活動は現状維持しつつ、将来的な地域への展開も視野に入れるとの説明。
- ウ 各関係者（保護者、教員、地域指導者）の負担や移行後の課題についても説明。
- エ 指導者謝礼、保険制度、施設利用料といった具体的運営面の対応策を示す。

(4) 質疑

- ア 部活動の移行タイミング、小学・中学間の移行の説明不足に対する保護者や参加者の不安の声が上がる。
- イ 各競技団体（中体連など）のルール変更や、指導体制、地域指導者の確保についての具体的な質疑。
- ウ 特に、部活動が学校管理から地域に移行する過程での子どもたちの安心安全、指導者の連携、さらには競技ごとのルール・体制の調整が懸念される点について意見交換を行った。

6 全体まとめ

- (1) 会議は、全国的な少子化や教員の負担増加に伴い、従来の部活動形態が持続不可能となる現状に対応し、西脇市の部活動を学校主導から地域クラブ活動を主体とする新たな形へと転換するための改革プランを、スケジュールとともに示した。
- (2) 講演では、部活動の文化的価値とその問題点を整理しながら、地域連携・支え合いの体制づくりの必要性を説き、説明会では実証事業の具体的計画や指導体制、費用負担、各種ルール変更などの実務的な対応策について説明した。
- (3) 質疑応答を通して、指導体制、競技ごとの移行のタイミング、保護者・生徒の不安への対応策など、現場の実情と今後の課題が浮き彫りとなり、関係者間で意見交換が行われた。